

【書籍リストの分類について】

アニメライブラリーでは、主にアニメーションに関わる書籍を収蔵している。

収蔵されている書籍は、下記の表の基準ののっとり、大きく9つのジャンルに分類してリスト化している。

2011年7月時点

大分類	概要	小分類	補足
1 アニメ作品	<p>国内外の「アニメ作品タイトル」・「シリーズタイトル」が主体となっている書籍類。</p> <p>シリーズタイトルとは、「ガンダムシリーズ」・「マクロスシリーズ」・「名作劇場シリーズ」・「ジブリ作品シリーズ」・「ディズニー作品シリーズ」などを指す。</p>	ムック	アニメ作品をタイトル(またはシリーズ)ごとに画像や解説などで紹介している書籍。「ロマンアルバム」・「オフィシャルガイド」・「ファンブック」・「メモリアル」・「公式大図鑑」など。 その他、別冊キネマ旬報、別冊宝島など、雑誌であっても通常の発行誌とは別に作品タイトルに特化している書籍や、デアゴスティーニ系のように作品タイトルに特化した雑誌は、雑誌ではなくここに分類される。
		制作資料	アニメ作品の制作資料をまとめた書籍。「設定集」、「背景画集」、「イメージボード集」、「絵コンテ集」、「脚本・シナリオ集」、「原画集」、「制作ドキュメント」など。
		イラスト集	アニメ作品タイトル主体のイラスト集・ビジュアルブックなど。「ガンダムイラスト集」などはここに分類されるが、作家主体の画集(安彦良和ガンダム画集など)は、下記の『大分類3 画集』に分類される。
		フィルムブック	アニメフィルムをコミックスの形態にした書籍。
		映画パンフレット	映画館で販売された「パンフレット」。 1冊のパンフレットに、同時上映の複数の作品が混在する場合はそれぞれ個別に登録し、タイトルに「(同時上映:○○○)」と併記する。同時上映であっても、パンフレットが分かれている場合は、併記しない。 「東映マンガまつり」などの場合は、「東映マンガまつり」の後に各作品名を併記している。
		特典冊子	DVDや書籍の付録・特典などの冊子類。 設定集や絵コンテなどの制作資料である場合もある。 ※雑誌の付録類は、原則としてライブラリーに収蔵されない。
2 原作	<p>コミックスや小説など、アニメの原作となった書籍類。</p> <p>原作でなくても、アニメ作品と連動して出版されていたり、アニメ作品と関わりの深い作家のコミックスなども含む。</p>	コミックス	版型に関わらず、コミックス(マンガ)の形態をとっている書籍。ただし、アニメのフィルムブックは除く。 単行本その他、「コンビニ本(廉価コミックス)」や「コミックスガイド(マンガ原作の解説本)」もここに含まれる。 アニメ化されていない作品でも、コミックスの形態をとっている書籍はここに分類される。「自伝コミックス」など。
		小説	版型に関わらず、小説(文章主体の物語)の形態をとっている書籍。
		絵本	版型に関わらず、絵本(絵物語)の形態をとっている書籍。
3 画集	<p>作品主体ではなく、アニメーターやマンガ家などの個人作家主体、もしくはアニメスタジオ主体の画集類。</p>	作家	作品タイトル主体ではなく、アニメーター、漫画家、イラストレーターなどの作家主体の画集。「安彦良和画集」など。
		アニメスタジオ	作品タイトル主体ではなく、アニメスタジオ主体の画集。「草薙 背景画集」、「ジブリ作品画集」など。
4 アニメ史・文化	<p>アニメ業界(マンガ業界も含む)やその周辺に関わる、歴史や文化に関わる書籍類。</p> <p>国内に関わらず、海外の作品・作家のものも含まれる。ただし、日本語表記の書籍に限る。</p>	歴史	国内外のアニメ作品史関連書籍。「アニメーション映画史」など。
		制作会社	アニメ制作会社の歴史や業績を記した書籍。「東映動画40年の歩み」「マッドハウスに夢中!」など。
		作家	特定の作家の紹介や作品のデータなどを集めた書籍。「手塚治虫マンガ大全」「横山光輝のすべて」など。
		データ	特定の作品シリーズ・タイトルに限らない、アニメ作品、声優、アニメーター、クリエイターなどのデータを集めたもの(事典・名鑑なども含む)。「テレビアニメ全集」「メカ図鑑」「声優事典」など。
		音楽	特定の作品タイトルに限らない、アニメ主題歌、アニメソング、アニソンアーティスト、音楽会社などを主として記した書籍。
		随筆	アニメーター、アニメスタジオ、マンガ家、声優、それらの家族や編集者などの関係者による書籍・特集本。 自伝、自叙伝、回顧録、関係者によるインタビューなど。
		伝記	伝記(個人の生涯にわたる行動や業績を叙述したもの、古くから伝えられている事柄の記録)、評伝(人物評をまじえた伝記)。
		ビジネス書	「アニメビジネス」に関わる書籍。
		評論	特定の作品に限らないアニメ業界・人物関連の評論について記した書籍。
		民俗	国内外のアニメ文化の実態・評価について記した書籍。

大分類		概要	小分類	補足
5	技術・学習	アニメ制作や声優、アニメ知識に関わる技術・学習書籍類。	アニメ制作	「絵の描き方」、「シナリオの書き方」、「アニメの作り方」、「アニメ制作ソフトの使い方」など、アニメ制作に関する技術書。
			演技	演技の指導・トレーニング方法、プロからの経験・アドバイスなど。主に声優育成関連の書籍。
			学習・検定	アニメ知識などの学習や検定についての書籍。
6	雑誌	アニメ専門誌やアニメ業界・作品を特集した雑誌類。 原則として、[〇〇年〇〇月〇号]などのように定期発行されている書籍を雑誌として扱う。特集誌の場合は、特集内容(特集タイトル)も掲載する。	アニメ専門誌	アニメージュ、Newtype、アニメディアなどの定期発行されたアニメ専門誌。または、アニメ関連フリーペーパーなども含む。 ※書籍冒頭の“月刊”などは省略している。 ※雑誌の付録類は、原則としてライブラリーに収蔵していない。
			アニメ関連特集誌	通常はアニメをとり上げていない定期発行誌で、アニメ作品・アニメ業界・アニメ作家・声優などを特集しているもの。 ※「別冊～」 「増刊～」などの通常の発行誌とは別に編集された「特集誌」の場合は、『アニメ作品』または『アニメ史・文化』に含まれる。 (例) 定期発行の「キネマ旬報」内でルパン三世を特集したものは『大分類6 雑誌』に分類されるが、「別冊キネマ旬報 ルパン三世 FILE全記録」はアニメ作品主体の『大分類1 アニメ作品』となる。
7	目録・報告・白書	展覧会等の目録・図録・報告書や行政が発行した白書類。	目録・図録	展覧会・イベント・上映会等で販売・配布されたもの。
			報告書・白書	アニメ関連の内容が含まれる「報告書・白書・調査書」。
8	その他	日本語書籍で、上記『大分類1～7』のいずれにも当てはまらない書籍。または、アニメを主体としない書籍。	—	「博物館ガイド」、「アニメ学校リスト」、「著作権の本」、アニメキャラクターが使われているがアニメ作品とは直接の関わりが薄い書籍類(「ちびまる子ちゃんのかん字じてん」)など。
9	外国語書籍	内容の大半が日本語以外の言語で表記されている書籍。	アニメ作品	ここでの小分類の基準は「大分類1～8」の内容に準ずる。
			原作	
			画集	
			アニメ史・文化	
			技術・学習	
			雑誌	
			目録・報告・白書	
その他				